

中中通信

平成29年6月26日
学校だより 6月号
発行 伊豆市立中伊豆中学校
電話 0558-83-0032
担当 久保田正基

伊豆市授業研究会行われる

16日（金）に伊豆市授業研究会が本校と中伊豆小学校を会場に行われました。本年度の中伊豆地区の研究テーマはずばり「学力向上」です。中学校では、新学習指導要領の実施を平成33年に控え、学校体制で授業改善に取り組んでいます。今回の授業研究会で、1年生は国語、2年生は理科、3年生は技術の授業を公開しました。概要をお伝えします。

1年生 国語 岩脇教諭 単元名 ブックデザインを考えよう

「ブックカバーのコピーを考えてみよう。」という学習課題で授業が展開されました。既習の小説「兄やん」のコピーを考えていく授業です。実際のコピーを見て、グループごとに工夫を探していきます。作者が伝えたい場面や物語の主題を考えてコピーが作られていることに気づき、自分のブックカバーを作っていました。



岩脇先生は、この夏の静岡教育研究会で、今回の授業をもとに、学校図書館研究部の司書教諭部門で提案を行います。

2年生 理科 秋元教諭 単元名 化学変化と原子・分子

マグネシウムを燃焼するとどうなるかと質問し、燃焼とはどういうことか復習しました。その後で「燃焼中のマグネシウムを二酸化炭素でいっぱいになった集気瓶に入れたらどうなるか」と質問しました。予想した後に実験をすると……。消えると予想した生徒は、燃え続けるマグネシウムを見て、びっくりしていました。「どんな化学変化が起きたのか、なぜ燃焼し続けることができたのか考えよう」と質問し、生徒たちはグループになって、マグネシウムが燃焼し続けたわけを考えていきました。



3年生 技術 三枝教諭 生物育成に関する技術「二十日大根の栽培」

「2Lペットボトルに二十日大根の種をまき、その収穫量（1cm以上の大きさの二十日大根の総重量）を競い合おう」という学習課題で、授業が展開されました。中学校理科で勉強したことを復習しながら、二十日大根についてまとめた後、生徒に収穫量を増やすために、どのように育てたらいいか質問しました。生徒の追求意欲を引き出しながら、「ペットボトルには何粒ぐらい種をまいたらいいかな」と質問しました。種をたくさんまくと間隔が狭くなり、十分光合成できません。かといって、種を少なくまくと、発芽しないものも出てきます。そこで、生徒たちに間引きの考えが浮かび、「いったいいくつの苗を残したらいいか」と聞きました。生徒たちは、自分たちなりの判断で間引いた後のことを考えながら、種をまきました。現在、体育館への通路にペットボトルを並べてあり、どの考え方で行った種まきが収穫量を多くするのか、確認中です。



↑
二十日大根の芽が出てきました。（6月26日現在）

田方地区PTA指導者研修会で本校の実践を発表

17日（土）田方地区PTA指導者研修会が函南小を会場に行われました。本校からは、5名の役員が参加し、分科会では佐々木PTA会長が「学校教育への協力」をテーマに本校の実践を発表しました。廃品回収や奉仕作業、またあいさつ運動の取り組みやPTA激励会での活動を紹介しました。

「挑戦」・・・それぞれの取り組み

現在、目前に迫った中体連に向けて、全校を挙げて取り組んでいます。毎年、もっとも早く大会が行われるのが陸上部です。6月10日（土）11日（日）の2日間、愛鷹運動公園陸上競技場で東部大会が行われました。三枝未希さんが、2年女子100Mで第7位（記録13秒23）、女子走り幅跳びで第4位（記録4m99）。また、小川悠斗さんが男子走り高跳びで第2位（記録1m70）になりました。おめでとうございます。この2名は、東部大会で13位以内に入った人だけが出場できる県大会に出場します。県大会は、小笠山総合公園エコパスタジアムで7月22日（土）23日（日）に行われます。他の競技は、7月8日（土）9日（日）に各会場一斉に行われます。



←県大会に出場する三枝未希さん（左）と小川悠斗さん